

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》○松尾淳司 山崎智弘

【概 要】

医動物学では、ヒトに疾病を引き起こす寄生虫および衛生動物を対象とする。寄生虫感染症は開発途上国などにおいては、未だ主要な感染症であるが、衛生環境の改善に伴い、かつて流行していた土壌媒介性の寄生虫感染症は大きく減少した。そのため、今日の日本において寄生虫感染症は過去のものと思われがちであるが、決して無くなったわけではない。むしろ、一部の寄生虫感染症では増加しているものも認められる。また、衛生動物は単に疾病を引き起こすだけでなく、ベクターとして、あるいは食品衛生などの点で問題となっている。本演習では、医動物学講義で学んだ知識を総動員し、寄生虫および衛生動物の形態観察から同定のポイントおよび各種検査法について学ぶ。

【学習目標】

- 1) 臨床検査に必要な知識と技術を習得するために、医動物学の概要を理解する。
- 2) 生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけるために、寄生虫の形態的特徴を理解する。
- 3) 問題解決に向けた科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけるために、寄生虫学的検査法を理解する。
- 4) 原虫類の構造および鑑別点を説明することができる。
- 5) 蠕虫類の構造および鑑別点を説明することができる。
- 6) 各種寄生虫に適した検査法を選択し、実施することができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	実習オリエンテーション	・実習概要	松尾淳司
2) 4	線虫、住血吸虫、衛生動物	・回虫、鉤虫、鞭虫、蟯虫、旋毛虫 ・住血吸虫 ・ダニ、ノミ 教科書：p64-99、p120-123、p149-173	松尾淳司 山崎智弘
5) 7	吸虫、条虫	・肝吸虫、肺吸虫、肝蛭 ・日本海裂頭条虫、マンソン裂頭条虫 ・無鉤条虫、縮小条虫、小形条虫 ・多包条虫 教科書：p102-119、p128-141	松尾淳司 山崎智弘
8) 10	原虫1	・アメーバ ・トリパノソーマ ・ランブル鞭毛虫、腔トリコモナス 教科書：p12-33	松尾淳司 山崎智弘
11) 13	原虫2	・マラリア原虫 ・トキソプラズマ、クリプトスポリジウム 教科書：p34-53	松尾淳司 山崎智弘
14) 15	まとめ	・観察のポイント解説	松尾淳司

【評価方法】

定期試験 60% 課題レポート 40%

【備 考】

教科書：吉田幸雄 他 著「医動物学 改訂7版」 南山堂 2018年

参考書：平山謙二 著「最新臨床検査学講座 医動物学」 医歯薬出版 2016年

【学習の準備】

教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。(80分)

演習で学習した部分について理解しておくこと。(80分)

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

(DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

(DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。